H27 クレジット創出支援実績 方法論 No. EN-R-001

羽毛素材メーカーにおける高効率LPGボイラー導入

河田フェザー株式会社（明和工場）

河田フェザー株式会社

所在地： 三重県多気郡明和町山大淀3255
代表者： 代表取締役 河田 敏勝
資本金： 4,320万円
従業員数： 49名
URL： http://kwd.jp/

1 事業の概要

河田フェザーは1891年の創業以来、日本屈指の羽毛素材メーカーとして羽毛の精製加工に力を入れ、混ざり物の無い「本物の羽毛」を提供してきた。
当社は世界でも希少となった成熟した水鳥から採れた羽毛を使用しており、丈夫で壊れにくく温度調節機能の高い羽毛の精製加工に努めている。

2 環境への取り組み

当社は2013年、羽毛の安定供給を図るため、使用した羽毛製品を回収し、中から取り出した羽毛を自社工場で洗浄回復させる「リサイクル羽毛」の取り組みを始めた。
一般廃棄物である羽毛製品は焼却時にCO_2を発生させてしまうが、リサイクルすることによってCO_2の抑制につながると啓発している。

3 制度活用のきっかけ

「羽毛リサイクル」の開始に伴い、社会貢献活動の一環としてCO_2抑制の啓蒙を検討していた。その時に、 CO_2削減を認証するJ-クレジット制度を知った。2014年にCO_2削減のためにボイラーを重油からLPGに入れ替えた際、この取り組みを広く発信するために、J-クレジット制度のソフト支援事業を利用して認証申請を行った。

4 取組の感想

ソフト支援事業の良かった点は、専門性の高い書類を無料で作成してもらうことができ、事務的な申請の負担がなかったことである。また、重油の使用量や経費など遡って用意する書類やデータの準備が必要であったが、認証に必要な書類や資料の指示が的確で効率的だった。認証後の継続した支援が、どの程度受けられるかについても丁寧な指導があった。

5 制度活用による効果

今後は環境や地球温暖化対策に積極的に取り組む企業としてPRに力を入れていきたい。

6 CO_2削減プラン

CO_2排出削減見込量 46tCO_2/年

投資回収年数 9.4年